

清須市第3次総合計画 序論・基本構想案の修正点

令和6年3月28日に開催した第2回総合計画審議会でごいただいたご意見等を踏まえ、序論・基本構想案を以下のとおり修正しました。

修正箇所	修正前	修正後
8～9ページ 第1章 序論 4 清須市を取り巻く社会情勢 ⑤ 地域共生社会の実現	人口減少や少子高齢化に伴い、地域には認知症高齢者や障がいのある人、生活困窮者など、支援を必要とする人が増加しています。さらに、ひきこもり、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーの問題など、複雑化・複合化した支援ニーズを持つ個人や世帯もみられるようになっていきます。	人口減少や少子高齢化に伴い、地域には認知症高齢者や障がいのある人、生活困窮者など、支援を必要とする人が増加しています。さらに、 <u>出産年齢の高齢化などを背景に、育児と親や親族の介護を同時に担わなければならないダブルケアの問題をはじめ、ひきこもり、8050問題、ヤングケアラーの問題など、複雑化・複合化した課題を抱え、社会から孤立してしまう家庭もみられるようになっていきます。</u>
14ページ 第2章 基本構想 1 清須市の基本理念 (1) 基本理念－魅力	連綿と受け継がれてきた歴史や文化を大切にし、その価値を見出し共有することで、地域の「魅力」を高めるまちづくりを進めます。	<u>これまで</u> 受け継がれてきた歴史や文化を大切にし、その価値を見出し共有することで、地域の「魅力」を高めるまちづくりを進めます。
14ページ 第2章 基本構想 1 清須市の基本理念 (1) 基本理念－はぐくみ	世代や地域、官民の枠を超えて、幅広い層の市民・企業との交流やつながりを大切にし、市に関わる人々のまちに対する誇りと愛着を「はぐくみ」、育てることができるまちづくりを進めます。	世代や地域、官民の枠を超えて、 <u>様々な価値観や文化の違いを尊重し合いながら</u> 、幅広い層の市民・企業との交流やつながりを大切にし、市に関わる人々のまちに対する誇りと愛着を「はぐくみ」、育てることができるまちづくりを進めます。
17ページ 第2章 基本構想 4 7つの政策（施策の方針） 政策1 安全で安心して暮らせるまちをつくる	東海豪雨災害の記憶を風化させることなく、教訓として将来に渡って生かしていきながら、近年の激甚化する災害から市民の生命と財産を守るための防災・減災対策を強化するとともに、防犯・交通安全対策の推進や、消防・救急医療体制の充実を図り、誰もが安心して暮らすことができるまちをつくれます。	東海豪雨災害の記憶を風化させることなく <u>次世代に語り継ぎ</u> 、教訓として将来に渡って生かしていきながら、近年の激甚化する災害から市民の生命と財産を守るための防災・減災対策を強化するとともに、防犯・交通安全対策の推進や、消防・救急医療体制の充実を図り、誰もが安心して暮らすことができるまちをつくれます。